

「核なき世界へ」「多様性の尊重を」

平和を守り人権いかに政治を

日本共産党



核兵器禁止条約第3回締約国会議の様子＝3月3日ニューヨーク

世界的にも注目を集める「核なき世界」の実現や「多様性の尊重」では、大きな前進がありました。

今年は、原爆投下から80年。日本被団協のノーベル平和賞受賞が大きな力となり、核兵器廃絶の運動が高まっています。一方、核兵器禁止条約第3回締約国会議への参加を取りやめた日本政府に、非難の声も聞かれています。議会では、日本共産党の質問に「残念」と市長が答弁。平和



施策の充実をはかり、戦争の悲惨さ、平和の尊さを伝え続ける」と表明しました。

またトランプ米大統領が「性別は男性・女性の二つのみ」と発言し、多様性を否定しています。日本共産党の質問に、「人権を踏みこむ発言は大変遺憾」と市長が発言。当事者に勇気を与えるものとなりました。

地域防災力の向上は、多くの市民の願いです。しかし流山市の取り組みを不安視する声が子ども（議会報告会など）からも聞かれています。

日本共産党の追及により、飲食店組合や入浴施設との災害協定の拡大は前進したものの、自助と他自治体・自衛隊からの支援に依存する流山市。指定避難所での避難者は人口の5%（1万人余）しか

想定せず、段ボール等のベッド備蓄（26年3月末）はたった300台。指定避難所の半数に防災備蓄倉庫がなく、災害弱者の避難計画も9割が未策定です。抜本的強化へ、世論と運動を広げましょう。



防災 「震度7」を想定し、対策の強化を

負担増にキッパリ 対決 2025年度 予算 願い実現に全力

予算化されました

- 高齢者の補聴器購入費助成や、一人暮らし高齢者宅への人感センサー設置、高齢者なんでも相談室の職員増員
- 地域子育て支援施設の新設や、ひとり親家庭などの学習支援対象拡大
- ぐりーんバス継続運行に向けた取り組み
- 老朽校舎の改修や、救急隊の増隊、他

2025年度予算は総額855億円。人口増を反映し、市税収入だけで21億円も増額されています。しかし、くらしが大変な中、学校給食費で2億円、国保料で3億円の負担増を市民に押し付けています。

また、多様化する市民要望等への対応は40億円も減額（2年連続）しました。その結果、補聴器は反対しました。

購入費助成など新制度を創設しても、利用しづらい条件付き。防犯機能付き電話の購入費助成など東葛地域では流山市だけ未実施です。

この背景には、観光事業など市長肝いりの事業への多額な税金投入に加え、TX沿線開発とそれに伴う関連事業への投資などがあり、日本共産党は反対しました。

2025年第1回定例会 星取表

会派			日本共産党				流政会					自民党		公明党		流山みらい															
議員名 ○賛成 ×反対 ー棄権 ※議長は表決に参加しない。			乾 えり	高橋あきら 和子	植田 和子	小田 桐仙	小沢えみり 大岳	川本 大岳	渡辺 仁二	近藤 みほ	石原 修治	坂巻 儀一	笠原 久恵	青野 直	中川 弘	海老原功一	桑畑 伴子	岡 明彦	戸辺 滋	野村 誠	うた 桜子	西尾 段	中村 彰男	藤井 俊行	楠山 栄子	清水 大	鈴木ゆうすけ	矢口 輝美	森田 洋一	阿部 治正	
令和7年度一般会計予算(可決)			×	×	×	×	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	
令和7年度国民健康保険特別会計予算(可決)			×	×	×	×	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
令和7年度水道・下水道事業会計予算(可決)			×	×	×	×	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
18歳までの医療費窓口負担撤廃を求める陳情書(不採択)			○	○	○	○	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○
消防力の整備強化と防災対策の充実を求める意見書(可決)			○	○	○	○	○	○	○	×	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×
高額療養費の負担上限額引き上げの撤回を求める意見書(否決)			○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○

